

公表: 令和 6年 3月 日

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	2		ここ数カ月ご利用時の増加がみられるが、部屋内の机の配置など環境設定に気を配っている。	・グループ活動の時間、きりん療育室が狭く感じる日がある。動的な活動をするには工夫や改善が必要。 ・机上活動時、1人で2・3台の机を使用することがあるので、少し狭いと思う。
	2	職員の配置数は適切であるか	11	1		・昨年よりも休みが取り易くなった。	・過剰な際には、子供たちの弊害にならないよう気を配る必要がある。 ・休みが重なると、少ないと感じる時がある。 ・適切ではあるが、複数人研修に参加すると手不足さを感じるため、希望制の研修は人数を制限すべきだと感じる。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	1		・文字、図、イラストなどを活用し、個々の子どもに沿った情報伝達を意識している。	・建物環境に制約はあるが、ロッカーや下駄箱の表示など画一的であるため、個々に配慮されて支援の工夫が必要である。 ・バリアフリー化はされていない。 ・情報伝達等というアナログ式ののだと思う。難しい点もあると思うが、緊急時はメールやアプリで視覚的に情報伝達できるようになると良いのではないかな。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	1		・日頃から生活空間の清掃、消毒を行っている。 ・管理員、看護師の掃除が行き届いている。給食後の掃除も職員がしていて清潔になっている。 ・新型コロナウイルス感染緩和後も毎日消毒を欠かさず、清潔に気を配っている。	・靴箱やごみ箱等、汚れが気になる場所が多々ある。気づいたら掃除したいが、その余裕がないのが現状。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	1		・個別支援計画作成時にされている。 ・全ての職員が参画できるよう時間帯や記録を活用し、周知徹底に努めている。 ・カンファレンスで行い、出席できない職員にも周知できるようノート記録を行っている。	・勤務形態が様々な職員がいる中、難しさを感じる。周知しきれていないことも多く、反省しているし課題であると思う。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12			・実施している。各行事の感想も集めており、次回の参考にしている。 ・意向や意見を真摯に受け止め可能な限り改善できるよう意識している。	・保護者への事業所評価は行っているがそこから業務改善につながっているかはどちらともいえない。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	1	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	2	1		・第三者委員の方と情報交換を行い意見を反映するよう努めたい。 ・どの程度外部評価を行っているかわからない。

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修など全て供覧し、希望する研修が受けられるよう配慮されている。</li> <li>・自己申告で受講できる研修が多数ある。</li> <li>・虐待、感染症、保育、救命等の研修を全体で行い、ここで研修も受けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確保されているが、時間設定等の課題はあると思う。</li> </ul>
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の様子、保護者の聞き取りを踏まえ会議をして作成している。</li> <li>・子どもと関わるなかで、日々の変化や成長を見つめ、子どもを理解しようと努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもさんのニーズ把握には難しさがある。複数職員でアセスメントを行うことで見解の偏りや公平性を</li> </ul>
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・統一したツールではないが、個々の判断で適宜使用していると思われる。共通理解を図るため積極的に活用する必要がある。</li> <li>・アセスメント内容を記載するシートはある。各自で発達検査表等を用いている。</li> </ul>
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年2月より、より明確に記載することとなった。</li> <li>・項目1つ1つがより具体的に、整合性のある支援内容を設定できるよう意識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より具体的に前向きに取り組める内容となるよう試行錯誤している。各々が発達段階をしっかりと学ぶ必要がある。課題である。</li> <li>・個別支援会議やカンファレンス等で職員間で共通認識を持ちながら引き続き取り組んでいきたい。</li> </ul>
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人ひとりとしっかりと向き合い、自分との関係性の中で適切な支援をしようと努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最も支援者の力量が問われる。支援の制度が高められるよう研鑽を積む必要があり課題である。</li> <li>・個別支援会議やカンファレンス等で職員間で共通認識を持ちながら引き続き取り組んでいきたい。</li> </ul>
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にプログラムの見直しを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間や月間など長期的視野で立案する必要性を感じる。</li> <li>・目的を明確にして引き続き取り組んでいきたい。</li> <li>・チームで行っているが、全員の思いを吸い上げて取り入れていくことの難しさを感じる。</li> </ul>
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度固定化されたプログラムの中で目標に合わせた療育を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の見直しはもう少し先を見据えてすべきだと思う。また、行事は例年通りではなく、今の子の姿に合わせて検討も必要だと思う。</li> </ul>
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず組み合わせている。子供さんの状況把握や計画立案に難しさもあるがここに適した計画となるよう努めている。</li> </ul>	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の朝のカンファレンスで確認している。</li> <li>・常に報告、連絡、相談を意識している。記録なども活用し、全職員に周知するよう工夫している。</li> <li>・朝会にて職員配置等の確認、打合せを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っているつもりではあるが、十分とは言えない。対応や動きに迷うことがあり、日々反省している。</li> </ul>

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・些細なことでも共有するよう意識している。</li> <li>・常に報告、連絡、相談を意識している。記録なども活用し、全職員に周知するよう工夫している。</li> </ul>	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録、確認をしっかりと行っている。</li> <li>・読み返してもわかりやすい記録をとるよう意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の意味と意図の理解を深めとり方の制度を高める必要がある。</li> <li>・記録に残していても、それを全員が見ているわけではないため、次につなげられているのか不安ではある。</li> </ul>
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援専門員と連携することもある。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ担当として、職員から最近の様子を聞いて、正確に状況をお伝えするようにしている。</li> <li>・会議の内容に応じて、参加者を検討している。</li> <li>・会議ごとに参画者を検討している。</li> </ul>	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、幼稚園、事業所と必要に応じて連携している。</li> <li>・必要に応じて連携を図り、情報を共有している。役割を明確にし、その役割が果たせるよう努めている。</li> </ul>	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や療育園の作業療法士、言語聴覚士から情報をお聞きしている。</li> <li>・専門家からの助言や意見を支援に活かしている。</li> <li>・必ず支援担当者会議で情報交換、共有を図り、役割を明確にし、その役割が果たせるよう努めている。</li> </ul>	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	11		1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体制は整っているが実際に主治医と連絡を取ったケースはない。今後必要時連携を図りたい。</li> </ul>
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に比べ、保護者や園のご希望を受け、行っている。</li> <li>・必要に応じて支援担当者会議を行うなど、連携がとれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援担当者会議や同行支援など積極的に行い、情報共有と相互理解に努めているが、相互理解については難しさを実感している。</li> </ul>
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学相談やすこやかファイルを使った情報交換会を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況確認、就学相談、情報交換会など定着し、情報共有、相互理解が深まっている。一年ほどは移行支援可能な体制づくりを必要と感じており課題である。</li> <li>・継続的な支援を行っていくために、移行時だけでなく、その後も定期的に</li> </ul>
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が行う研修に参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中核機能としての役割が求められており、その具体的内容や方法が明確でなく課題と感じる。</li> </ul>

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	12		・必要性を感じていない。	・他園の子供と交流できる機会がない。 ・日々利用時が障害のないこと接する機会を作ることができると良いと思う。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	3		・児童発達支援部会が地域にはないが、相談支援部会には参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12			・日々の様子を保護者に伝えるだけでなく、変化や今後の目標を話し合い、共通理解を持てるよう意識している。 ・努めている。 ・日々の会話を大切に、丁寧な傾聴を心がけ、共通理解が持てるよう努めている。 ・保護者の方とお子さんの様子について一緒に確認したり伝えあったりすることを今後も行っていきたい。	・カンファレンスで共有しているが、窓口的な職員が偏ってしまうのも課題のように思う。それぞれの関係性があると思うが、改善は必要。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	5	1	・全体では行っていないが、必要に応じて個別に対応している。 ・プログラム支援は行っていないが、相談や悩みなどを聞き、一緒に支援方法や手立てを考えている。	・特別企画していないが、保護者の対応の際には常に意識している。力量が問われるため研鑽を積む必要性を強く感じる。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12			・入園時説明で詳しく説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	12			・保護者から納得して同意を頂けるよう計画を立てるに到った経緯や狙いまで細かく説明している。	・同意は得ているが、こちらの意図がきちんと伝わっているか、誤解を招いていないか心配である。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12			・どの職員が対応しても適切な支援につなげることができるよう、些細なことでも共有するようにしている。 ・相談内容を職員間で共有し、柔軟に対応している。 ・特に期間は問わずいついかなる時も応じ丁寧に迅速に公平に対応するよう心がけているが、適切であるかの判断は難しい。 ・保護者の方の相談ごとに関して、職員間で話し合いながら丁寧に対応していきたい。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12				
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12			・相談体制については、支援計画にも明記し、申し入れがあった際には最優先し、ていねいな傾聴、迅速に公平に対応するよう努めている。	・ある程度できていると思うが、保護者によっては自らSOSを出しにくい方もいると思う。個人差が出すぎないように、時にはこちらからのアプローチも必要だと思う。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1	y		・園だよりや行事案内は配られているが、もっと活動内容やこちらの配慮や意図が伝わるものになると良いと思う。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	12			・掲示物や机上などにも注意を払うよう心がけている。	

	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12			・子どもさんの言動をきめ細かくみ取りここに適切な対応となるよう観察力を高めることを意識している。	・視覚支援や適切な言葉掛け等の工夫はしているが、言い方が強すぎないか心配になることがある。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	9			・コロナ禍が明けたばかりで、まだ難しいかもしれないが、地域に開かれた・・・とは言いにくい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12				・マニュアル策定や周知については、個人的に認識が薄いと反省する。 ・感染症や風症状については、保護者がどの程度認識されているのか不安になることがある。ケースによってその場その場の対応になっている気がする。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12			・実際の災害を想定して行っている。	・毎月避難訓練を行っているため、危機感に乏しく、マンネリ化していることが課題である。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	12				・服薬やてんかん発作、基礎疾患などについては最新の注意を払っているが、予防接種の詳細までは把握していない。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12				
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	1		・ヒヤリハット事例集を作成したり、起こった事例を職員間で共有、改善点の洗い出しを行い、再発防止に努めている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12			・虐待の見解は難しい。認識を持ち説明責任が果たせるよう意識し対応している。疑問に感じた時にはその旨を保護者に説明している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	6	1		・身体拘束はないと認識しているため、支援計画への記載はない。有無について今後検討する必要はあると感じる。 ・以前、説明了解を得た事例もあるが、計画には記載していなかった。 ・子どもや保護者にどの程度説明をしているのか把握できていない。少なくとも、支援計画には記載していない(必要のないケースだからなのか)。